

## 第55回明石市環境審議会 議事録

日時：平成27年3月26日（木）午後2時～

場所：明石市民会館 会議室1・2

審議会開催前に明石市一般廃棄物処理基本計画の改定について（諮問）を実施

### ○会長

それでは、引き続き、第55回明石市環境審議会を開催いたします。

本日はお忙しい中、審議会へ御出席いただき、まことにありがとうございます。

まず、開催に当たりまして、資料の確認と本日の審議会の成立について、事務局から御説明お願いいたします。

### ○事務局A

お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず一番上に次第がございます。続きまして、資料1として、「みんなで作る循環型のまち・あかしプラン」の改定についてという1枚物の資料がございます。続きまして、資料2につきまして、明石市環境審議会自然環境部会報告、こちらは資料2-1から資料2-5までがございます。また資料2-1、資料2-2につきましては表面だけの1枚物、2-3につきましては5ページまである資料がついているかと思えます。2-4につきましては両面印刷の1枚物、2-5が表面だけの1枚物でございます。続きまして、資料3、平成27年度の開催予定についてということで、表面の1枚物の資料がついております。そのほか参考資料として、審議会委員名簿を添付しております。

配付資料は以上でございます。

御確認いただきまして、不足している資料や落丁などがありましたら、お知らせいただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、本日の審議会の成立につきまして、御報告いたします。

本日は審議会委員20名中15名の御出席をいただいております。過半数の御出席とな

りますので、条例施行規則第23条第2項の規定に基づきまして、本日の会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、委員Cにおかれましては、御都合により御欠席されていますことを御報告させていただきます。

また、委員Dと委員Eにおかれましては、こちらのほうに今向かわれております。もうしばらくされたらお越しになられると思います。

以上でございます。

## ○会長

ありがとうございました。

それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。

まず1番目ですが、明石市一般廃棄物処理基本計画の改定についてですが、先ほど泉市長様から計画の改定について諮問をいただきましたので、委員の皆様には諮問書の写しを配付させていただきます。事務局、よろしくお願いいたします。

それでは、この計画の改定につきまして、事務局から説明お願いいたします。

## ○事務局B

資源循環課のBでございます。

私からは、「みんなで作る循環型のまち・あかしプラン」の改定について御説明させていただきます。

それでは、お手元の資料1をご覧ください。

まず初めに、1の計画改定の経緯についてですけれども、本市では、循環型社会の構築を図るため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきまして、明石市一般廃棄物処理基本計画を策定し、一般廃棄物の排出抑制を含めました分別排出から収集・運搬、中間処理、そして最終処分に至るまでの各施策を実施してきているところでございます。

続きまして2の改定の理由の(1)改定の時期ですけれども、当該計画につきましては、環境庁のごみ処理基本計画策定指針におきまして、おおむね5年ごとに改定するとあり、平成23年度策定の明石市一般廃棄物処理基本計画は、来年度、平成27年度が当該計画の5年目の中間年度となりまして、改定作業年度となっております。

(2) 国による循環型社会形成のための取り組み強化についてですが、第三次循環基本計画が平成25年5月に閣議決定されまして、リデュース・リユースの2Rの取り組みがより進むためのシステムの構築や、小型家電の有用金属の回収と、部品から同じ部品を再生いたします、いわゆる水平リサイクルの推進に着目した循環型社会形成を示しておるところですけれども、これらを本計画に反映するものでございます。

次の3の改定手続等の(1) 市政への市民参画についてですけれども、基本計画の改定に当たりましては、市政への市民参画を推進するため、明石市環境審議会におきまして意見、提言を求めるとともに、市民アンケートやパブリックコメントを実施いたしまして、市民の皆様の意見・意向を計画に反映させたいと考えておるところでございます。

最後に(2) 諮問、答申についてですけれども、先ほど市長から諮問をいただいたところですが、冒頭でもお話ししたとおりに審議会にて内容等について審議していただき、平成28年3月に答申の予定となっております。

以上で、「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」の改定についての説明は終わらせていただきます。

## ○会長

ありがとうございました。

御説明いただきましたように、この計画は平成23年度から32年度までの10年計画となっておりまして、国の指針では5年をめぐりに改定することとなっております。来年度はその5年目の年に当たるため、市では実情に合わせて見直しを行うこととしております。市長の附属機関である環境審議会は、市長の諮問に応じ、その内容について調査、審議することになっておりますので、今後、計画の改定について審議を行ってまいりたいと思います。

計画の見直しにかかわる詳細な審議につきましては、専門家の属する資源循環推進部会において内容等の精査を行い、審議会にて報告を行いながら進めてまいりたいと思います。委員の皆様、長期にわたる審議となりますが、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

では、続きまして、2番目の自然環境部会の報告に移らせていただきます。事務局から説明をお願いいたします。

## ○事務局C

失礼いたします。環境総務課のCでございます。

私のほうから、先日行いました自然環境部会の報告をさせていただきます。

資料2-1をご覧ください。

自然環境部会第14回は、平成27年1月22日木曜日、15時より、明石クリーンセンター2階研修室にて開催されました。議題といたしましては、平成26年の取り組みの報告と、平成27年度の市の取り組み予定でございました。

まず、平成26年度の報告でございますが、資料2-2をご覧ください。

最初に、大久保町松陰新田における植生調査でございますが、こちらの調査につきましては、兵庫県立人と自然の博物館様に調査をお願いいたしました。本審議会委員の委員Dにもこの調査に携わっていただいておりますので、自然環境部会では委員Dのほうから業務概要や内容等を御報告いただきました。

調査の内容は、生物多様性あかし戦略の拠点の1つであります大久保町松陰新田地域の植生や竹林の分布調査を行いまして、他の拠点、明石公園でありますとか、金ヶ崎公園ですけれども、そちらのほうと、市内に分布する小規模樹林、主に社叢林でございますけれども、そちらとの比較分析を行いまして、保全管理に向けた知見を収集いただきました。報告書につきましては今月中に仕上がる予定でございますので、後日でき上がり次第、委員の皆様にもお送りさせていただきます。

続きまして、資料2-3をご覧ください。

こちらはミシシippアカミミガメ防除調査の業務報告書でございますが、こちら部会開催時はまだ集計途中でございましたので、自然環境部会用の中間報告版として作成させていただいております。今年度の調査は、明石市と水辺環境保全に取り組む関係団体等と明石市ミシシippアカミミガメ対策協議会を設立いたしまして、国の生物多様性保全推進交付金を受けまして、この協議会でミシシippアカミミガメの防除を実施いたしました。

簡単にこの報告書について説明させていただきますと、調査は6月から11月の間に魚住町を流れます瀬戸川、清水川、あとその流域のため池にて、事前の目視調査1回、防除調査10回、あと、防除後の効果確認調査10回の計21回実施いたしました。調査方法は、主にカメの専用捕獲網を用いて河川やため池に設置したものと、あと補足的に他の動物相を調査するために、魚を捕獲する網も設置いたしております。

次の2ページをご覧くださいませ。

こちらのほうには調査内容について記述しております。まず、事前調査として、流域を踏査してカメの生息確認を行ったところ、確認個体の9割以上がミシシippアカミミガメでございました。その後の防除調査10回と防除後の効果確認調査10回にて、合計2,872匹のミシシippアカミミガメを捕獲いたしました。日本の固有種でありますイシガメに至っては9匹のみと、非常に少ない結果でございました。

このページの下グラフは、瀬戸川と清水川におけるミシシippアカミミガメの生息密度の推移をあらわしたグラフでございまして、防除開始直後は密度が高い状態で推移していましたが、調査を進めるうちに徐々に密度が低くなっております。

次の3ページをご覧くださいませ。

こちらは瀬戸川と清水川のカメの割合を示す円グラフでございまして、赤い部分がミシシippアカミミガメの割合でございまして、6月28日には44%でしたが、調査終盤の10月12日には18.4%まで減少することができました。

ページの下写真でございまして、左側が最初の目視調査の時点の写真でございまして、右側が最後の効果確認の調査のときの写真でございまして、このように目視においてもアカミミガメが大変減ったことがうかがえます。

次の4ページをご覧くださいませ。

こちらは瀬戸川上流部の寛政池の密度の推移をあらわしたグラフでございまして。

この寛政池では、アカミミガメの総捕獲数2,872匹のうちの3分の1以上を占める1,025匹を捕獲しております。寛政池では、防除開始当初よりも夏場に一度生息密度が高くなり、一旦減少したものの、8月から9月にかけて再度密度が高くなっており、その後10月にかけて減少いたしました。

これは、台風など大雨などでため池や河川の水量が増した際に、寛政池のさらに上流部に生息するアカミミガメが寛政池に流入してきたものと思われまして。この瀬戸川流域においては、今後も継続したアカミミガメの防除や防除後の効果確認など、流域の環境保全に向けた対策が必要であると思われまして。

次の5ページでございまして、こちらのほうには調査日ごとのカメの捕獲数の一覧を掲載しておりますので、ご覧くださいませ。なお、この調査の正式な報告書も後日でき上がり次第、松陰新田の報告書と御一緒に委員の皆様へお送りさせていただき予定にしております。

続きまして、資料2－4をご覧くださいませ。

こちらの資料をもとに平成26年度の市の取り組みの報告をさせていただきました。

平成26年度は、アカミミガメの防除や松陰新田の調査、あかしいきものフォーラムの開催、あかしの生態系を守る条例の制定など、9つの実施項目について報告させていただきました。

続いて、資料2－5をご覧くださいませ。

こちらの資料をもとに、平成27年度に市が予定している事業について説明させていただきました。

今年度に引き続き、生物多様性あかし戦略の推進に基づく自然環境調査でございますとか、アカミミガメの防御や放逐防止に向けた啓発、あとエコウイングあかしが進める、あかし市民自然図鑑づくりに向けた野鳥や昆虫の調査のサポートなどを進めてまいりたいと思います。

なお、自然環境部会では、部会委員の皆様からも生物多様性あかし戦略の推進に向けたさまざまな御意見や情報をいただきました。

自然環境部会の報告は以上でございます。

## ○会長

ありがとうございました。

ただいまの自然環境部会の報告について、何か御意見、御質問はございませんでしょうか。

## ○委員A

先ほどの報告ですけども、確かに減りました。私、清水地区の人間ですが、減りましたが、また小さいのがぼちぼち増えてきています。3年ほどほっといたら、もとどおりになります。なので、また今年もう一度やってもらったら、かなり駆除できると思います。

それと、寛政池の上流は川が流れ込んでいます。そこしか流れ込まないような川があるんです。それがずっと岩岡、西区のほうから流れてきますので、多分、その流域のカメが池に入り込んだと思います。あそこの池へ入ったカメは、また瀬戸川へ流れるルートがあるんですが、多分池にいると思います。また、増えているカメは卵が残っ

たり、繁殖していると思いますので、また、今年もよろしく申し上げます。

以上です。

#### ○会長

ありがとうございます。

非常に繁殖力が強いということは伺っているんですけども、繁殖力が強いのに加えて、池に一旦流れ込んできたやつ、そこでふえたら、また元の木阿弥ではないかということもあるんですが、今後の御計画について何か。

#### ○事務局 C

27年度も引き続き瀬戸川のほうの効果確認調査を中心に、防除とあわせて行っていく予定もしておりますので。それと、あと過去にも明石で調査したエリアでございますね、谷八木川とかのほうにも効果確認調査を予定しておりますので、調査範囲というか、防除するエリアも徐々にふえていくことと思います。

#### ○会長

よろしいでしょうか。何かほかに御質問、御意見はございませんでしょうか。

それでは、次に、3のその他、平成27年度の開催予定について事務局から説明をお願いいたします。

#### ○事務局 D

事務局、環境総務課のDです。

それでは、資料3をご覧ください。

平成27年度の開催予定についてでございますが、1の環境審議会につきましては、開催回数は3回程度を予定しており、内容としましては、各部会の報告事項に関する事、廃棄物処理基本計画の改定に関する事、明石市環境レポートに関する事となっております。

続きまして、2の自然環境部会につきましては、開催回数は2回程度を予定しており、内容としましては、自然環境調査の報告について、生物多様性あかし戦略の取り組み状況に関する事となっております。

続きまして、3の資源循環推進部会でございますが、開催回数は、先ほどから出ております基本計画の見直しがあることから、回数が多くなっており、5回程度を予定しております。内容としましては、主に計画の改定に関することとなっております。

## ○会長

ただいまの事務局からの説明について御意見、御質問はございませんでしょうか。

それでは、説明にもありましたように、来年度は一般廃棄物処理基本計画の改定という大きな作業がございます。部会、審議会ともに開催も多くなり、多忙になることと思いますが、皆様、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、審議会はこれで閉会になってしまうんですが、資源循環推進部会の委員の皆様は、この後、部会がございますので、御出席いただきますようお願いいたします。

全体を通して何か御質問、御意見ございますか。よろしいでしょうか。事務局もよろしいですか。

## ○事務局 A

かなり回数は多くなっておりますけども、委員の皆様におかれましては、なるべく早く日程についてお知らせしたり、同一日に開催する工夫などをしながら、お手数をおかけしないような形では事務局として進行したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## ○会長

では、この後、部会がございますけれども、この審議会は本日はこれで閉会させていただきたいと思えます。本日はお忙しい中、審議会にお集まりいただき、ありがとうございました。